

目 次

王 綜

凡例	二
解説	二
I 少年期	二
題「友人雲母障子」（友人の雲母の障子に題す）	三
九月九日憶「山東兄弟」（九月九日山東の兄弟を憶ふ）	三
西施詠（西施詠）	三
桃源行（桃源行）	四
息夫人（息夫人）	五
從「岐王過「楊氏別業」」應教（岐王に從ひて楊氏の別業に過る）	五
勅借「岐王九成宮」避暑（勅して岐王に九成宮を借して避暑せしむ）應教（おうけう）	五
II 濟州に出されて	九
被「濟州」（濟州に出ださる）	吾
魚山神女祠歌二首（魚山神女祠歌二首）	吾
迎神曲（迎神の曲）	吾
送神曲（送神の曲）	吾
贈「祖三詠」（祖三詠に贈る）	吾

柳浪（柳浪）	一六
樂家瀨（樂家瀨）	一七
金屑泉（金屑泉）	一八
白石灘（白石灘）	一九
北垞（北垞）	二〇
竹里館（竹里館）	二一
辛夷塢（辛夷塢）	二二
漆園（漆園）	二三
椒園（椒園）	二四
輞川閑居贈裴秀才迪（輞川閑居 裴秀才迪に贈る）	二五
酌酒與裴迪（酒を酌みて裴迪に與ふ）	二六
過感化寺曇興上人山院（感化寺曇興上人の山院に過る）	二七
臨高臺送黎拾遺（臨高臺 黎拾遺を送る）	二八
輞川閑居（輞川の閑居）	二九
積雨輞川莊作（積雨輞川莊の作）	三〇
歸輞川作（輞川に歸りての作）	三一
春中田園作（春中田園の作）	三二
山居卽事（山居卽事）	三三
山居秋暝（山居秋暝）	三四
田園樂七首（田園樂七首）	三五
其二（其の二）	三六
其三（其の三）	三七
其六（其の六）	三八
其六前陂（前陂に汎かぶ）	三九
訓下虞部蘇員外過藍田山門精舍（虞部蘇員外の藍田の別業に過るも留まられざるの作に訓ゆ）	四〇
訓下虞部蘇員外過藍田別業不見留之作（虞部蘇員外の藍田の別業に過るも留まられざるの作に訓ゆ）	四一
訓下虞部蘇員外過藍田別業不見留之作（虞部蘇員外の藍田の別業に過るも留まられざるの作に訓ゆ）	四二
訓下虞部蘇員外過藍田別業不見留之作（虞部蘇員外の藍田の別業に過るも留まられざるの作に訓ゆ）	四三
訓下虞部蘇員外過藍田別業不見留之作（虞部蘇員外の藍田の別業に過るも留まられざるの作に訓ゆ）	四四
送別一首（送別一首）	四五
藍田山石門精舍（藍田山石門精舍）	四六
送別一首（送別一首）	四七
送別一首（送別一首）	四八
送別一首（送別一首）	四九
送別一首（送別一首）	五〇
送別一首（送別一首）	五一
送別一首（送別一首）	五二
送別一首（送別一首）	五三
送別一首（送別一首）	五四
送別一首（送別一首）	五五
送別一首（送別一首）	五六
送別一首（送別一首）	五七
送別一首（送別一首）	五八
送別一首（送別一首）	五九
送別一首（送別一首）	六〇
V 晚年	六一
菩提寺禁裴迪來相看、說下逆賊等凝碧池上作音樂、供奉人等舉聲、便一時淚下。私成口號誦示裴迪（菩提寺の禁に裴迪來りて相ひ看るに、逆賊等凝碧池上に音樂	六二
新晴晚望（新晴の晚望）	六三
渭川田家（渭川の田家）	六四
送別（送別）	六五
過香積寺（香積寺に過る）	六六
送梓州李使君（梓州李使君を送る）	六七
觀獵詩（觀獵の詩）	六八
皇甫嶽雲溪雜題五首（皇甫嶽の雲溪の雜題五首）	六九
鳥鳴澗（鳥鳴澗）	七〇
蓮花塢（蓮花塢）	七一
鷓鴣塢（鷓鴣塢）	七二
上平田（上平田）	七三
萍池（萍池）	七四
雜詩五首（雜詩五首）	七五
其三（其の三）	七六
其四（其の四）	七七
其二（其の二）	七八
冬晚對雪憶胡居士家（冬の晩雪に對し胡居士の家を憶ふ）	七九

孟浩然

舍に過り易業一上人に呈す

歸鹿門歌（夜に鹿門に歸る歌） つも至らず）

鹿門山懐古	(鹿門山に登りて懷古す)	六四
一長子容卦	愚	夏曰南亭懐辛大
	（ちやうしょよつ）	（夏日南亭に辛大を懷ふ）
西山尋辛方	（西山尋辛方）	七三

春臥_レ疾寄_ニ張八子容_一
(晩春)
疾に臥して張八子容に寄
遊_ニ鳳林寺西嶺_一
(鳳林寺の西嶺に遊ぶ) ······

三
登
中
孤
興
會
白
雲
先
生
王
阿
一
（
上
人
の
高
老
い
達
を
）

潭作
（峴潭の作）
（けいとうのかく）
（あじこくしょく）

登三萬山寄張五
（秋に萬山に登りて張五に寄す）
送陳七赴西軍
（陳七の西軍に赴くを送る）

三〇四
送下元公之鄂渚尋中觀主張膠鸞上
(元公の鄂渚に之き觀主
ちやうさんらん たず おく)

梅道士 (梅道士を尋ぬ)
三六
田家作 (田家の作)
三五

（はうれい）ちゅうる（やんのぞ）
（でんか）がんじつ

故人莊（故人の莊に過る）

精思觀廻王白雪在後
（精思觀に遊びて廻るに王白雲）

春
(晩春)
三四
経る作

號賤三王力（口號して王力に賤る）
號賤三王力（江を渋りて、武昌に至る）

（探樵の作）
樵作
（さいせつ　さく）
（三九）
陪二張丞相自二松滋江東泊二渚宮（
（ちやうじょうしゃうぱいしょゆうじ）
（張丞相に陪して松滋江東泊する二渚宮）

中道士雲公
（山中ちゆうだいし うんこう）
中逢三道士雲公
（なかよし さんどうし うんこう）
中逢三道士雲公
（なかよし さんどうし うんこう）

洞庭上張丞相
(洞庭に臨みて張丞相に上る)
途中遇晴
(途中は晴れに遇ふ)

行至_ニ漢川_一作（行きて漢川に至る作）

武陵即事
(武陵に宿る即事)
三六

題二長安主人壁（長安の主人の壁に題す）……………四三

<p>V 晩年の故郷</p> <p>仲夏歸_ニ南園_一寄_ニ京邑舊遊_一（仲夏に南園に歸りて京邑の舊遊に寄す） 四四</p> <p>登_ニ望楚山最高頂_一（望楚山の最高頂に登る） 四四六</p> <p>傷_ニ覗山雲表上人_一（覗山の雲表上人を傷む） 四四七</p> <p>送_ニ丁大鳳進士赴_レ舉呈_ニ張九齡_一（丁大鳳進士の舉に赴くを送りて張九齡に呈す） 四四八</p>	<p>與_ニ崔二十_一遊_ニ鏡湖_一寄_ニ包賀_ニ公_一（崔二十_一と鏡湖に遊びて包賀_ニ公に寄す） 四四九</p> <p>除_ニ夜樂城張少府宅_一（除_ニ夜樂城の張少府の宅） 四五〇</p> <p>初年樂城館中臥_レ疾懷_ニ歸_一（初年 樂城の館中に疾に臥して歸るを懷ふ） 四五二</p> <p>廣陵別_ニ薛八_一（廣陵にて薛八に別る） 四五三</p>
<p>VI 場所未詳</p> <p>永嘉上浦館逢_ニ張八子容_一（永嘉の上浦館にて張八子容に逢ふ） 四五四</p> <p>書_レ懷貽_ニ京邑故人_一（懷ひを書して京邑の故人に貽る） 四五五</p> <p>送_ニ王昌齡之_ニ嶺南_一（王昌齡の嶺南に之くを送る） 四五七</p> <p>與_ニ王昌齡_ニ宴_ニ黃十一_一（王昌齡と與に黃十一に宴す） 四五九</p>	<p>春曉（春曉）</p> <p>戲贈_ニ主人_一（戯れに主人に贈る） 四六〇</p> <p>送_ニ朱大入_ニ秦_一（朱大の秦に入るを送る） 四六一</p> <p>送_ニ友人之_ニ京_一（友人の京に之くを送る） 四六三</p> <p>涼州詞_ニ二首_一（涼州詞_ニ二首） 四六四</p>
<p>其一（其の一）</p> <p>秋宵月下有_レ懷_一（秋宵月下に懷ひ有り） 四六五</p> <p>聽_ニ鄭五愔彈_ニ琴_一（鄭五愔の琴を彈くを聽く） 四六六</p> <p>他鄉七夕（他郷の七夕） 四六七</p> <p>早寒江上有_レ懷_一（早寒江上に懷ひ有り） 四六八</p>	<p>其一（其の一）</p> <p>濟_レ江問_ニ同舟人_一（江を濟りて同舟の人間に問ふ） 四六九</p> <p>宿_ニ桐廬江_ニ寄_ニ廣陵舊遊_一（桐廬江に宿りて廣陵の舊遊に寄す） 四七〇</p> <p>經_ニ七里灘_一（七里灘を經） 四七一</p> <p>宿_ニ建德江_一（建徳江に宿る） 四七二</p> <p>舟中曉望（舟中曉望） 四七三</p> <p>尋_ニ天台山_一作_一（天台山を尋ねる作） 四七四</p> <p>東陂遇_レ雨率爾貽_ニ謝南池_一（東陂にて雨に遇ひ率爾として謝南池に貽る） 四七五</p>
<p>耶溪泛_レ舟（耶溪に舟を泛かぶ）</p> <p>遊_ニ雲門寺_一寄_ニ越府包戶曹_・徐起居_一（雲門寺に遊びて越府の包戶曹・徐起居に寄す） 四七六</p>	<p>濟_レ江問_ニ同舟人_一（江を濟りて同舟の人間に問ふ） 四七七</p> <p>與_ニ顏錢塘_ニ登_ニ樟亭_ニ望_レ潮作_一（顏錢塘と樟亭に登りて潮を望む作） 四七八</p> <p>與_ニ杭州薛司戶_ニ登_ニ樟亭驛_一（杭州薛司戶と樟亭驛に登る） 四七九</p>

目 次

王維・孟浩然略年譜	五三
王維・孟浩然閏連地図	五三〇
詩題索引	五三一
王維	五三二
孟浩然	五三三
	五三五